

## 雄勝半島の集落における庭木についての研究（仮）その 18 Investigation about garden plants in Ogatsu peninsula colony (temporary) #18

山崎誠子<sup>1</sup>, 加藤俊彦<sup>2</sup>, ○西明慶悟<sup>2</sup>, 小島陽子<sup>3</sup>

This research records "green memory" in the local reproduction and architectural designs, such as a revival residence, ignited by the revival from the Great East Japan Earthquake, and aims at using the underlying data at the time of inheriting the result to heights relocation, a community institution, and a park and a street. In the Ogatsu peninsula, investigation selected the respectively typical colony in the area passed from the tsunami of the Great East Japan Earthquake, and the area in which it resides still now, and performed the kind of garden tree, and record of distribution. In this investigation, finer high-precision results of an investigation were able to be obtained by performing same investigation in the same colony as last time.

### 1. はじめに

前稿に続き、東日本大震災復興を契機とした地域再生と復興住宅等の建築設計に関する研究のうち、「緑の記憶」を記録し、その結果を高台移転やコミュニティ施設、公園・街路へと継承する際の基礎資料にすることを目的とした調査（2014年6月1日~2日）の報告を行い、本稿では、雄勝半島の集落における庭木の調査結果について分析を行い、前稿の結果と併せて雄勝半島の植栽の特徴を考察する。

### 2. 各集落の庭木についての調査結果

【調査日・方法】2014年6月1~2日、宮城県石巻市雄勝半島(図1)の集落16地区を対象に調査を実施した。現地へ赴き、専門家の指導のもと、各集落に残る植生の分布を目視で確認し、白地図にプロットしていった。

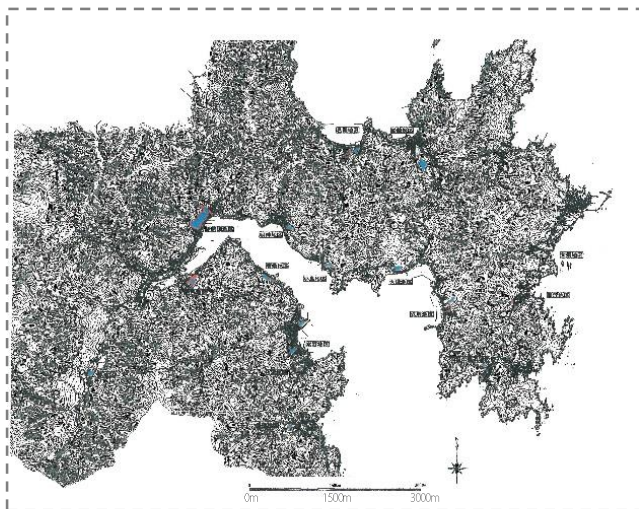


図1. 雄勝半島の全体図

【調査結果】16地区の調査結果の内、庭木の種類に集落の特徴が見受けられた数ヶ所を取り上げる。

#### ① 伊勢畑地区

伊勢畑地区は、雄勝半島の西に位置し、雄勝湾に面する地区で最も規模の大きいエリアである。津波の影響でほぼすべての建物が流された、

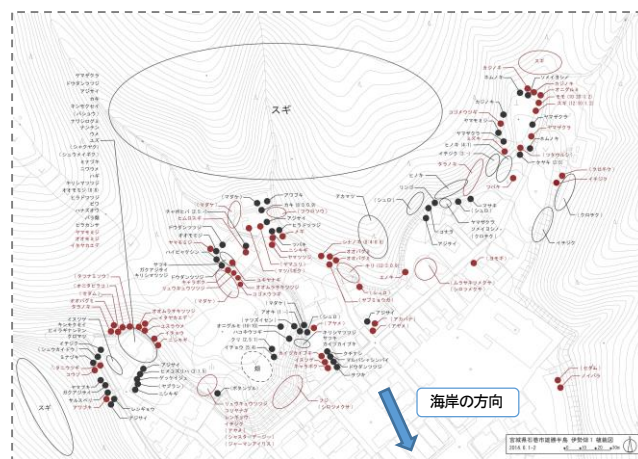


図2. 伊勢畑地区のプロット図

表1. 伊勢畑地区で確認できた樹種の例

花を特徴とする樹木	ドウダンツツジ, キリシマツツジ, リュウキュウツツジ, サツキ, オオムラサキツツジ, アジサイ など
紅葉を特徴とする樹木	ヤマモミジ, イタヤカエデ, オオモミジ, ニシキギ など

#### ② 船戸地区

船戸地区は、雄勝半島の南西に位置し、雄勝湾の最も奥のエリアである。津波の影響で多くの建物が流された。

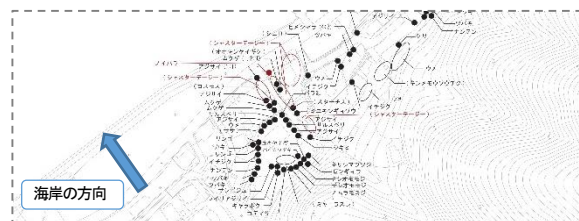


図3. 船戸地区のプロット図

表 2. 船戸地区で確認できた樹種の例

春に開花する樹種	キリシマツツジ, レンギョウ など
夏に開花する樹種	アジサイ, サルスベリ, ムクゲ など
紅葉する樹種	チシオモミジ, ノムラモミジ など
冬に開花する樹種	ツバキ
実をつける樹種	ウメ, カキ, リンゴ など

③ 水浜地区

水浜地区は、雄勝湾を挟んだ南側に位置する。図 4 は地区の南側で、高台にあるため、津波の被害を免れた。

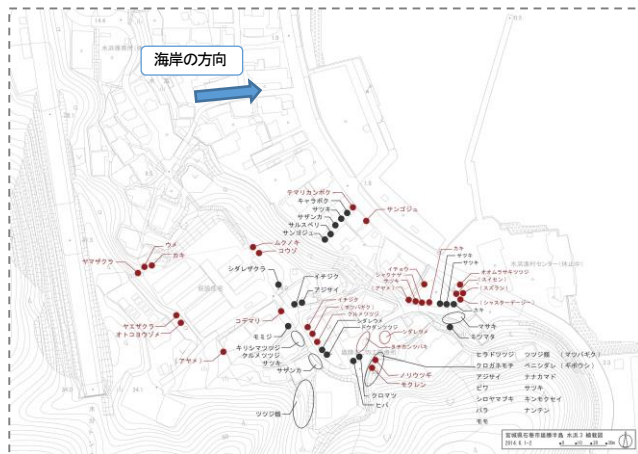


図 4. 水浜地区のプロット図

表 3. 水浜地区で確認できた樹種の例

花を特徴とする樹種	クメツツジ, サツキ, アジサイ, キンモクセイ, バラ類, ウメ など
-----------	--------------------------------------

④ 大須地区

大須地区は、雄勝半島の最東端に位置する。集落全体が少し高台にあるため、津波の被害は比較的少ない。

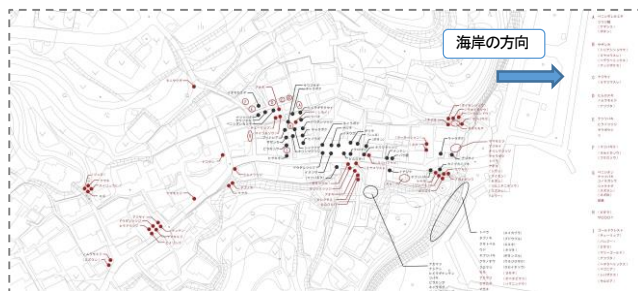


図 5. 大須地区のプロット図

表 4. 大須地区で確認できた樹種の例

道路沿いの樹種	アカマツ, アオキ, ヒムロヒバ, キャラボク, ナンテン, ミヤコワスレ, チューリップ ブットレア, マツバギク, スズラン など
斜面の庭の樹種	キリシマツツジ, ドウダンツツジ, サツキ, ヒラドツツジ, ツバキ, ピラカンサ, サザンカ, バラ類, ベニシダレカエデ など

⑤ 熊沢地区

熊沢地区は、半島の東に位置している。津波の影響で海に近い数棟が流された。

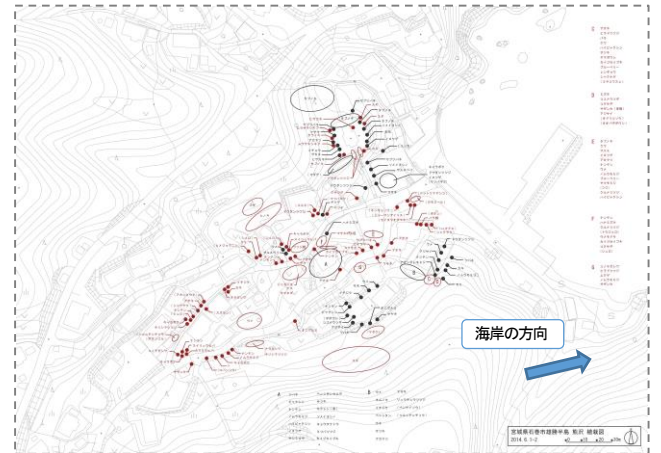


図 6. 熊沢地区のプロット図

表 5. 熊沢地区で確認できた樹種の例

実を特徴とする樹種	ウメ, モモ, カキ, ブルーベリー, イチジク, ハナミズキ など
視線を遮る常緑樹	アオキ, ナンテン, キャラボク など

3. まとめ

本調査では、前年度の調査に加え、新たな樹種を各集落で確認でき、より一層雄勝半島の原風景が見えてきたように思える。前年度の調査では集落の庭木において、道路や平坦部・斜面部の植栽によって違いが確認でき、色とりどりの樹木が植えられていることが伺えた。そして今回の調査で明らかになった樹種もこれらの特徴に当てはまり、関東都心部では見受けられないような庭木を楽しむ文化を確認することができた。

昨年度と同様、今後も高台移転や住宅計画による地域再生を植栽の視点からとらえ、建築と植栽の2つによる震災復興の姿を考察していきたい。

本研究は、日本大学理工学プロジェクト「東日本大震災復興を契機とした地域の固有性・多様性に応える地域再生と復興住宅等の建築設計に関する研究～宮城県石巻市雄勝町を対象として～」を基に行っている。

【参考文献】

[1] 山崎誠子+建築知識編集部:「新・緑のデザイン図鑑」, pp.243, 2009  
 [2] 山崎誠子:「樹木別に植栽プランが分かる 植栽大図鑑」, pp.203, 2013  
 [3] 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫:「フィールド版 日本の野生植物 木本」, 1993  
 [4] 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫:「フィールド版 日本の野生植物 草本」, 1985